

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関より提供を受けて下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の
氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究
の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用される
ことについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの
受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

骨髄異形成症候群における骨髄ナチュラルキラー細胞数と予後について

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、骨髄異形成症候群の予後に関わるリスク因子を同定することを
目的とした研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2017年1月1日 から 2020年12月31日 までの間に、当院で骨髄異形成症候
群と診断された方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2021年12月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・診療情報等：診断名、年齢、性別、治療レジメン、骨髄検査での有核細胞数・リンパ球数。
- ・治療後の生存期間、白血病化までの期間。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：東海大学医学部付属病院
- 研究代表者：内科学系 血液腫瘍内科学 准教授 鬼塚 真仁

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2231）

研究責任者 血液腫瘍内科学 鬼塚 真仁

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科学 原 隆二郎